

単元の評価規準

単元 学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
第3章 生涯を通じる健康	第1節 生涯の各段階における健康	1 思春期と健康	・生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 ・思春期における心理面や性意識の変化について理解したことを発言したり、書き出したりするとともに、適切な行動を選択することができる。	・思春期と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを検討した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて説明するなどの学習活動に主体的に取り組むことができる。		
		2 思春期の体と健康	・二次性徴における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、精神面、行動面など変化にかかわる健康課題について理解したことを、発言したり、書き出したりしている。 ・思春期の体の変化に対応して自分の行動への責任感や異性を理解したり、尊重したりすることが必要であることを理解し、その行動について発言したり書き出したりすることができる。	・思春期の体の変化とそれともなう様々な健康課題を発見し、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性にかかわる情報を適切に整理することができる。 ・思春期の体の変化に対応した行動について考えたことを、発言したり、書き出したりしている。	・思春期の体と健康について、理解したことやその理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて説明するなどの学習活動に主体的に取り組むことができる。	
		3 結婚生活と健康	・健康な結婚生活について心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを、発言したり、書き出したりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすために、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解したうえで、発言したり、書き出したりしている。	・健康な結婚生活について、習得した知識を基に、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。 ・結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の向上にむけて保健・医療サービスの活用方法を整理することができる。	・健康の保持・増進のために、家庭が担う役割について、積極的に調べることができる。	
		4 新しい生命の誕生	・受精・妊娠・出産の過程とそれに伴う健康課題を理解し、発言したり、書き出したりしている。 ・母子の健康を守るための健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解したうえで、発言したり、書き出したりしている。	・女性は、自らが経験するかもしれないこととして、男性も課題を見つけて考えることができる。	・受精から妊娠、出産までの過程のメカニズムについて、教科書などから積極的に調べることができる。	
		5 家族計画と不妊治療	・家族計画の意義や様々な避妊法について理解したことを、発言したり、書き出したりしている。 ・人工妊娠中絶の心身への影響や問題点、近年の不妊治療について理解したことを、発言したり、書き出したりしている。	・家族計画の重要性を認識し、自らの将来に当てはめて考えることができる。	・家族計画を立てることの重要性を理解し、人工妊娠中絶による心身への影響などについても積極的に学習することができる。	
		6 加齢と健康	・加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、疾病や事故のリスクが高まることについて理解したことを、発言したり、書き出したりしている。 ・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、介護などの必要性が高まることから保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要となることについて理解したことを、発言したり、書き出したりしている。	・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取り組みと社会的対策を評価することができる。 ・中高年が健やかに過ごすための様々な方法について考えたことを発言したり、書き出したりしている。	・加齢に伴う心身の変化や壮年期以降の健康課題、高齢社会における取り組みなどについて、積極的に調べることができる。	
	第2節 労働と健康	1 労働者の健康・安全と健康問題	・労働者の健康、安全を守るしくみについて理解したことを、発言したり、書き出したりしている。 ・労働環境の変化とそれに伴う健康問題について理解したことを、発言したり、書き出したりしている。	・労働者の健康・安全を守るしくみについて、習得した知識を基に、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 ・労働環境の変化とそれに伴う健康問題について、課題を発見し個人の取り組みと社会的な対策を整理している。	・労働と健康のかかわりや健康生活を送るための職場・家庭・地域の役割について、積極的に学習することができる。	
		2 労働災害・職業病とその予防	・労働による障害や職業病などの労働災害は作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて理解したうえで、発言したり、書き出したりしている。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善や健康管理と安全管理が必要であることを理解し、その方法について発言したり、書き出したりしている。	・労働による障害や職業病などの労働災害について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けての課題を発見し、個人の取り組みと社会的な対策を整理している。 ・労働と健康に関する情報から課題を発見し、解決方法について適切な方法を選択し、それらを説明することができる。	・労働による障害や職業病などの労働災害について、多様な方法を調べたり、課題を解決したりするなどの学習に主体的に取り組んでいる。	
		労働者の健康づくりと「働き方改革」	・労働者の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて理解したことを、発言したり、書き出したりしている。 ・働き方改革について法律が制定された背景や趣旨について理解するとともに予防対策について理解したことを、発言したり、書き出したりしている。	・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法を話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。	・働く人の健康の保持増進について、多様な方法を調べたり、課題を解決したりするなどの学習に主体的に取り組んでいる。	
	第4章 健康を支える環境づくり	第1節 環境・食品と健康	1 環境汚染の広がりとその影響	・人間の活動と生態系の結びつきについて調べたり、調べた内容をまとめて発言したり、書き出したりしている。 ・人間の活動が環境に及ぼす影響について、過去の事例を調べたり、現在の状況や課題について発言したり、地球環境問題について具体的な対応策などをまとめたりしている。	・人間の活動に伴い、なぜ環境破壊が起きるのかを理解し、解決のために必要な行動について考えることができる。	・地球環境の変化の歴史と、現在の問題点について、積極的に課題を見つけることができる。
			2 大気汚染の健康への影響と対策	・大気汚染の定義と、健康に被害を及ぼす物質などに関する、正しい知識をもつことができる。	・大気汚染による健康被害を防止するための対策を、積極的に考えることができる。	・大気汚染による健康被害を防ぐためには、どのような対策が必要であるかを積極的に調べることができる。
			3 水質汚濁と土壌汚染の健康への影響と対策	・自然環境の水を通じた循環について知り、水や土壌の汚染が発生の経過や、防止のために行われている対策などについて、正しい知識をもつことができる。	・水質汚濁や土壌汚染を防止するために、私たちが行うことができる身近な対策を考え、自らの行動に反映することができる。	・水質汚濁や土壌汚染による健康被害について、その原因と対策を積極的に調べることができる。
4 廃棄物の処理と健康			・有害な化学物質による健康被害の危険性や、それらの管理方法について正しい知識をもつことができる。	・産業廃棄物問題を自らの健康にも直接かかわる問題として捉え、考えることができる。	・産業廃棄物処理問題の構造と、その解決策について、積極的に課題を見つけ、学習することができる。	
5 環境衛生活動			・ゴミ処理の4つの方法や上下水道の仕組みなどについて、正しい知識をもつことができる。 ・ゴミの減量化に向けた3R運動などの取り組みについて、正しい知識をもつことができる。	・上下水道の設備やゴミの分別など、身近な問題として捉え、考えることができる。	・環境衛生向上のための上下水道の整備方法やゴミ処理方法について、積極的に課題を見つけ、学習することができる。	
6 食品の安全性の確保			・食品による健康被害と、その予防のために行われている対策について、正しい知識をもつことができる。	・自らの食生活において、健康被害に遭わないために必要な行動を、適切に選択することができる。	・食品によって起こる健康被害や、防止のための対策などについて、積極的に調べることができる。	
第2節 保健・医療制度と機関	1 保健・医療制度	・わが国の保健行政・医療制度などについての、正しい知識をもつことができる。	・わが国の保健・医療に関する制度について、自らの健康の保持・増進に直接かかわるものとして捉え、考えることができる。	・わが国の保健行政や医療制度などについて、その具体的な施策などを、積極的に調べることができる。		
	2 地域の保健機関・医療機関の活用	・保健・医療機関がそれぞれもっている役割やサービスについて、正しい知識をもつことができる。	・保健・医療機関の利用方法について理解し、自らの生活のなかで適切に利用することができる。	・身近にある保健・医療機関の役割や場所、医療機関の利用方法などを、積極的に調べることができる。		
	3 医薬品と健康	・医薬品の効果と副作用に関して、安全に使用するための正しい知識をもつことができる。	・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理することができる。	・医薬品の効果と危険性の両面について理解し、日常生活における医薬品の危険性について積極的に考えることができる。		
	4 さまざまな保健活動や社会的対策	・わが国で行われている保健活動について、正しい知識をもつことができる。 ・国際的に行われている保健活動について、正しい知識をもつことができる。	・自らの健康の保持・増進をはかるために、ヘルスプロモーションの考えに沿って積極的に調べ、さまざまな保健対策を利用することができる。	・わが国や世界で行われている保健活動や対策について、積極的に調べることができる。		
	5 健康に関する環境づくりと社会参加	・健康の保持増進のための環境について、正しい知識をもつことができる。 ・ヘルスプロモーションを進めるための取り組みについて、正しい知識をもつことができる。	・ヘルスプロモーションの考えに基づいた健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てることができる。	・健康増進の取り組みについて、自らの生活に当てはめて考え、積極的に健康増進を図ることができる。		